

## ◇伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会

委員（令和元年6月現在）

	市町名	区分	団体名	委員	
				役職	氏名
1	伊勢市	全 般	三重県 (南勢志摩地域活性化局)	副局長 兼地域活性化防災室長	中西 文則
2	伊勢市	全 般	皇學館大学	教育開発センター 准教授	板井 正斉
3	伊勢市	医療・福祉	伊勢地区医師会	理事	西山 敦
4	伊勢市	医療・福祉	伊勢市社会福祉協議会	会長	宮崎 吉博
5	伊勢市	教 育	皇學館大学	教育開発センター長	齋藤 平
6	伊勢市	産業振興	伊勢商工会議所	事務局長	三浦 徹
7	伊勢市	産業振興	伊勢市金融協会	株式会社百五銀行 伊勢支店長	加藤 徹也
8	伊勢市	産業振興	伊勢市観光協会	専務理事	西村 純一
9	伊勢市	産業振興	伊勢農業協同組合	専務理事	酒徳 雅明
10	伊勢市	公共交通	三重交通株式会社	伊勢営業所 所長	三村 和也
11	鳥羽市	市町推薦	鳥羽市観光協会	専務理事	世古 晃文
12	志摩市	市町推薦	志摩市自治会連合会	会長	松井 源紀
13	玉城町	市町推薦	玉城町商工会	事務局長	北山 勝彦
14	度会町	市町推薦	度会町商工会	事務局長	山北 佳宏
15	大紀町	市町推薦	大紀町地域活性化協議会	事務局長	山添みゆき
16	南伊勢町	市町推薦	三重外湾漁業協同組合	常務理事	田岡 悟
17	明和町	市町推薦	明和町観光協会	会長	森下 清

&lt;敬称略&gt;

## 圏域の現状と課題に係る主な意見（令和元年度）

分野	意見等
産業・観光	会社等の事業承継の問題が増えてきているので、圏域内で情報共有しながら、広域的に取り組むことが大切であると感じている。
	大きなイベントが続き、圏内を訪れる人も増えている。今後、オリンピック、国体が続くが、それ以降も圏域を活性化していくために圏域の連携を更に進めていかなければいけないと感じている。
	最近、鳥羽湾に多くの外国人が乗っているクルーズ船が来る回数が増えている。通訳が多く必要となるため、高校生や大学生へもボランティアをお願いしているが、その対応が親切で非常に好評である。また、学生への良い経験となるため学校からも評価されている。こうした観光と教育の連携のように、分野を越えた連携を進めることで課題解決の方向に進んでいくと思う。
農林漁業	鳥獣被害防止対策については、有効な対策は難しいと思うが、罠にAIを組み込んで、罠に入るとスマホへ情報を送るといったようなものもあるため、そういった研究等も進めていく必要がある。
	漁業については、異常気象の中で水温が上昇しているため、魚が取れる時期が遅くなり、不漁となっている。また従事者の高齢化が顕著であり、担い手がいない厳しい状況になってきているという圏域の大きな課題が続いている。